

# トムス ハイパー コンプレッサーキット クラウン（GRS182）用

13600 - TGS80, 81, 82, 83

## 取り付け / 取り扱い説明書

本書はコンプレッサー本体取り付けについて記載しています。インタークーラーについての記載は別途インタークーラーキットの説明書をご覧ください

- ◆ お取り付け及びご使用前に必ず本書をよくお読みください。
- ◆ 本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書も譲渡してください
- ◆ 販売店殿 本商品お渡しの際、保証書およびユーザー登録ハガキに販売店印の押印、装着時走行距離および購入日を記入してください。押印および記入がない場合は保証対象外となりますのでよろしくお願い致します
- ◆ ユーザー登録ハガキは必ずご返送ください。ご返送ない場合は保証対象外となる場合があります

## 目次

【1】	ご確認ください.....	1
【2】	事前に準備いただくもの.....	1
【3】	はじめに.....	2
【4】	適応車種.....	2
【5】	<b>ご使用時の注意事項</b> .....	2
【6】	エンジンECUについて.....	2
【7】	保証について.....	3
[ 1 ]	保証期間.....	3
[ 2 ]	保証の受け方.....	3
[ 3 ]	保証をしない事項.....	3
[ 4 ]	保証対象外費用.....	3
【8】	構成部品表.....	4
【9】	構成部品図.....	6
【10】	取り付け.....	8
[ 1 ]	純正部品はずし.....	8
[ 2 ]	コンプレッサーASSY取付け.....	14

### 【1】 ご確認ください

以下の梱包箱があるかどうかご確認ください。

#### GRS182ハイパーコンプレッサーキット（インタークーラーキットを除く）

箱番号	箱品番（部品品番）	箱品名（部品名）
- 1	13601-T3GR0-01	コンプレッサーメインキット （コンプレッサーASSY）
- 2	13601-T3GR0-01	コンプレッサーメインキット
	13601-T3GR0-P1	コンプレッサー取付キット クラウン用
別梱包	13504-T3GR* * = 0: IC 用 / 1: IC なし用	ドライブプーリー
別梱包	16361-T3GR* * = 0: IC 用 / 1: IC なし用	Vベルト、コンプレッサー用
別梱包	82217-T3GR0	クラッチハーネスクラウン用

インタークーラーキットについては別途インタークーラーキットの取り付け説明書を参照してください

### 【2】 事前に準備いただくもの

作業を開始する前に以下のものを事前に準備してください。

注文は全国のトヨタ部品共販となります。

#### 部品

- 1, エアタンクツーインテークマニホールドガスケット(トヨタ純正) 17176 - 31020 1個
- 2, スロットルボディガスケット(トヨタ純正) 22271 - 31030 1個

#### 工具（必要に応じて準備する）

### 【3】はじめに

このたびは、トムスハイパーコンプレッサーキット(クラウンGRS182用)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取り付けを以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。本取り付け説明書は各車両の脱着分解図を掲載してあります。更に詳しい内容については、各車両の修理書を参照して下さい。

### 【4】適応車種

本製品は以下の車種に対応しています。(H18年4月現在)

トヨタクラウン(GRS182) (H15年12月~H16年8月=TGS80,82  
H16年8月~H17年9月=TGS81,83 いずれも3GR-FSEエンジン搭載車)

### 【5】ご使用時の注意事項

**以下の注意事項を守らない場合、エンジンの破損に伴う事故となりますので十分ご注意ください**

- 1, 本製品を装着すると、エンジンの燃焼効率が改善され、エンジンの性能が向上いたします。ブレーキの性能を確認し、十分な制動力を確保して走行してください。
- 2, エンジンの過回転(回転計の「レッドゾーン」以上の使用)はエンジン破損につながります
- 3, 装着後、エンジンチェックランプが点灯したり、エンジンに著しい異常(振動、異音、黒煙の排出等)を感じた場合はただちに使用を中止し販売店等に連絡してください
- 4, 取り付け後、数キロ走行した後に、ボルトの緩みやベルトの干渉、ガソリン、冷却水の漏れ等をチェックしてください。
- 5, **ガソリンは必ず「無鉛ハイオク」をご使用ください。レギュラーガソリンや粗悪ガソリンを使用するとノッキングをおこしエンジンが破損する場合があります。**
- 6, エンジンオイル・オートマチックトランスミッションオイルは通常よりこまめに交換してください  
**推奨交換時期 エンジンオイル5000KmごとATFオイル20,000Kmごと**
- 7, 本コンプレッサーを装着した場合、エンジン始動時に「キュッ」という音がする場合がございます。純正ベルトが瞬間的にスリップする音ですが、走行等に支障ありませんので、ご了承下さい。

Vベルトは亀裂、ゆるみ、部品との干渉などをこまめに点検してください。

### 【6】エンジンECUについて

1. 車両に装着されている純正ECUに下記の送付用紙をコピー添付して弊社に発送してください。その際、純正ECUに装着されている**取り付けブラケットを必ず外し**お客様にて管理してください。
2. 純正ECUをTECに変更の際、弊社に純正ECU到着後、2週間程度車両が動かせなくなります
3. お客様より弊社に送付される際の運賃はお客様にてご負担ください。

送付先〒158-0082 東京都世田谷区等々力6-13-10(株)トムス営業部宛

TEL03-3704-6191 / FAX03-3704-9486

TOM'S T.E.C. 送付用紙 for HYPER COMPRESSOR KIT					
該当品番(必ずご記入下さい) 13600 - T					
お客様お名前	TEL				直送先 (印必ず記入)
住所(お客様用)					
ご担当販売店名 ご担当者	TEL FAX				
住所					
共販・代理店 ご担当者	TEL FAX				
住所					

## 【7】保証について

本製品について製造上の不具合が発生した場合、下記の期間と条件に従ってこれを無償修理(保証修理)いたします。保証修理は部品の交換または補修により行います(製品の返品等はお受けいたしません)。また、取り外した不具合部品は(株)トムスの所有となります。

### [1] 保証期間

➤ 保証修理の対象期間は以下の通りです

製品お買いあげ後1年間。但し期間内であっても装着後走行距離20,000Kmまで

### [2] 保証の受け方

保証を受ける場合は、販売店に車両を持ち込み、保証書を提示の上保証修理をお申し付けください。原則として不具合部位を取り外し、(株)トムス宛ご返却いただき、調査後トムスにて現品を修理もしくは交換しご返却いたします。

### [3] 保証をしない事項

➤ 上記保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外となります

- 1 本書に添付されている保証書に販売店押印、装着時走行距離および購入日の記載のない場合、または字句を書き換えられた場合
- 2 保証書の提示がない場合
- 3 使用損耗あるいは経年変化による劣化など、製造上の不具合と認められない場合
- 4 登録後4年を経過した車両または走行距離が50,000Kmを超えるエンジンに装着した場合
- 5 輸送中の不具合
- 6 レース・ラリー等通常の使用状態と異なる使用方法による破損・不具合
- 7 指定のガソリン(無鉛ハイオク)以外のガソリンおよび粗悪ガソリン等の使用による不具合
- 8 エンジンオイル・ATFオイルのメンテナンス不良に起因する不具合  
(推奨メンテナンス; エンジンオイル5,000Kmごと、ATFオイル20,000Kmごと交換)
- 9 地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災によるもの。また薬品、融雪剤、塩害、飛石等の外部要因によるもの
- 10 消耗品(Vベルト、ゴムホース類、ガスケット等)の破損・不具合
- 11 本書に指示のある調整以外の調整をおこなった場合(例、規定以上にブーストを上げた場合など)、また、純正およびトムス指定以外の吸排気系部品や電子部品の装着によるもの
- 12 取り付け作業時や分解時のまちがい、不備
- 13 機能上影響ない「感覚的現象」および本製品特有の現象
  - 1) コンプレッサーの過給音等(過給時キーン音、クラッチ断続時のカチャッ音など)
  - 2) 機能上差し支えないオイルにじみ
  - 3) 本製品が主原因でない振動・ハーシュネス

### [4] 保証対象外費用

➤ 以下に示すものの費用は負担いたしません

- 1 自動車を使用できなかったことによる不便さおよび損失等(電話代、レンタカー代、宿泊費、休業補償、営業損失等)
- 2 脱着工賃

### 【 8 】 構成部品表

➤ 本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい

ボルト・ナットについては以下のように付番し、イラスト下段の数字は締め付けトルク値を示します。

1 桁目	2 桁目	3 桁目	4 桁目	5 桁目
B : ボルト	F : フランジ	径を示す	長さ 2 , 3 桁目	長さ 1 桁目
N : ナット	C : キャップ	1 - 9 : mm	1 - 9 : mm	0 - 9 : mm
W : ワッシャー	S : スタッド	0 : 1 0 mm	0 : 1 0 mm	
	P : プレーン ( 平 )	A : 1 1 mm	A : 1 1 mm	
	R : スプリング	B : 1 2 mm	B : 1 2 mm	
	L : ロックナット	以降アルファベット と対応	以降アルファベット と対応	

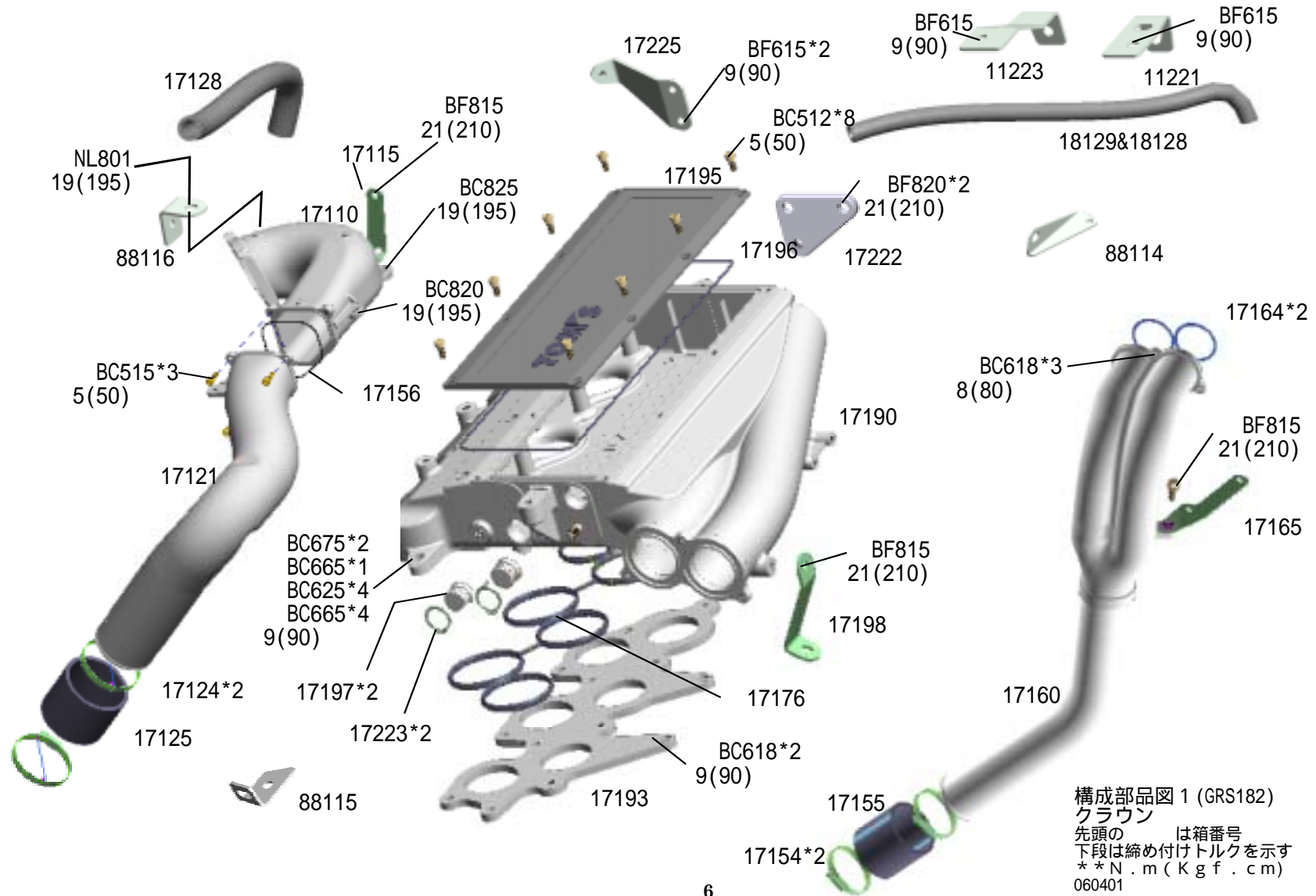
イラストNo.	項目	品名 1	品番 1	品番 2	個数/台	箱No.
イラストなし	エンジン電装品	エンジン ECU(TEC )クラウン	89600	TGS80	1	箱なし
88112	エンジン電装品	ハーネスブラケットNo.1 オイルセンサー	88112	T3GR0	1	- 2
88113	エンジン電装品	ハーネスブラケットNo.2 オイルセンサー	88113	T3GR0	1	- 2
88114	エンジン電装品	ハーネスブラケット	88114	T3GR0	1	- 2
88115	エンジン電装品	ハーネスブラケット(箱注意)	88115	T3GR0	1	
88116	エンジン電装品	ステー、VSV(箱注意)	88116	T3GR0	1	
17110	SC 前方 吸気系	インレットパイプ No.1	17110	T3GR0	1	- 2
BC820	SC 前方 吸気系	キャップボルト M8x1.25x20	91176	08020	1	- 2
BC825	SC 前方 吸気系	キャップボルト M8x1.25x25	91176	08025	1	- 2
NL801	SC 前方 吸気系	フランジ付きロックナット M8x1.25	91199	08015	1	- 2
17115	SC 前方 吸気系	ステー、インレットパイプNo.1	17115	T3GR0	1	- 2
BF815	SC 前方 吸気系	フランジボルト M8x1.25x15	91189	08015	1	- 2
17156	SC 前方 吸気系	Oリング インレットパイプNo.1	17156	T3GR0	1	- 2
17121	SC 前方 吸気系	インレットパイプ No.2	17121	T3GR0	1	- 2
BC515	SC 前方 吸気系	キャップボルト M5x0.8x15	91176	05015	3	- 2
17125	SC 前方 吸気系	ジョイントホース、インレットパイプ 80	17125	T3GR0	1	- 2
17124	SC 前方 吸気系	ホースバンド、インレットパイプ	17124	T3GR0	2	- 2
17128	SC 前方 吸気系	ホース、ウォーターバイパスホース 8*400mm	17128	T3GR0	1	- 2
18129	SC 前方 吸気系	ホース、ブローパイ 9*500mm	18129	T3GR0	1	- 2
18128	SC 前方 吸気系	プロテクター、ブローパイホース	18128	T3GR0	1	- 2
13601	SC 本体	コンプレッサーサブASSY	13601	T3GR0	1	- 1
13619	SC 本体	Sナット、ロアブラケットSC	13619	T3GR0	1	- 2
WPB25	SC 本体	ワッシャーM12	91256	12025	1	- 2
BF820	SC 本体	フランジボルト M8x1.25x20	91189	08020	2	- 2
82217	エンジン電装品	マグネットクラッチハーネス(クラウン)	82217	T3GR0	1	別梱包
17155	SC 後方 過給系	ジョイントホース、アウトレットパイプ 70	17155	T3GR0	1	- 2
17154	SC 後方 過給系	ホースバンド、アウトレットパイプ	17154	T3GR0	2	- 2
17160	SC 後方 過給系	アウトレットパイプ	17160	T3GR0	1	- 2
17164	SC 後方 過給系	Oリング、アウトレットパイプ	17164	T3GR0	2	- 2

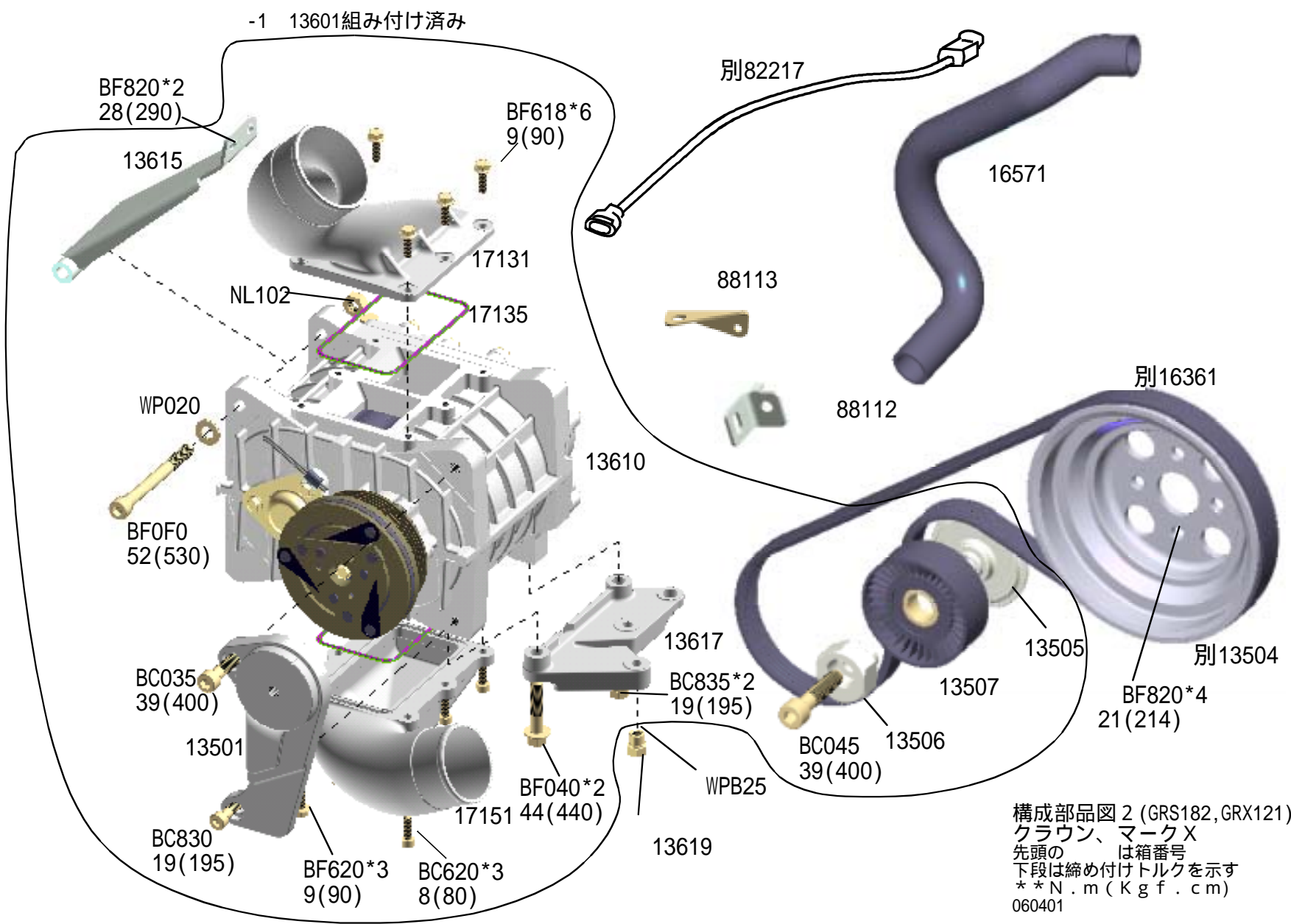
イラスト No.	項目	品名 1	品番 1	品番 2	個数/台	箱 No.
BC618	SC後方 過給系	キャップボルト M6x1.0x18	91176	06018	3	- 2
17165	SC後方 過給系	ステー、アウトレットパイプ	17165	T3GR0	1	- 2
BF815	SC後方 過給系	フランジボルト M8x1.25x15	91189	08015	1	- 2
17193	サージタンク	スペーサー、サージタンク(箱注意)	17193	T3GR0	1	
BC618	サージタンク	キャップボルト M6x1.0x18(箱注意)	91176	06018	2	
17190	サージタンク	サージタンク ASSY	17190	T3GR0	1	- 2
17223	サージタンク	Cリング	17223	T3GR0	2	- 2
17195	サージタンク	サージタンクカバー	17195	T3GR0	1	- 2
17196	サージタンク	Oリング、サージタンクカバー	17196	T3GR0	1	- 2
BC512	サージタンク	キャップボルト M5x0.8x12	91176	05012	8	- 2
17176	サージタンク	ガスケット	17176	31020	1	- 2
BC625	サージタンク	キャップボルト M6x1.0x25(箱注意)	91176	06025	4	
BC665	サージタンク	キャップボルト M6x1.0x65(箱注意)	91176	06065	1	
BC675	サージタンク	キャップボルト M6x1.0x75(箱注意)	91176	06075	2	
BC665	サージタンク	キャップボルト M6x1.0x65(箱注意)	91176	06065	4	- 2
17197	サージタンク	ホールプラグ	17197	T3GR0	2	- 2
17198	サージタンク	ステー、サージタンクNo. 1	17198	T3GR0	1	- 2
BF815	サージタンク	フランジボルト M8x1.25x15	91189	08015	1	- 2
17222	サージタンク	ステー、サージタンクNo. 3	17222	T3GR0	1	- 2
BF820	サージタンク	フランジボルト M8x1.25x20	91189	08020	2	- 2
17225	サージタンク	ヒーターパイプステー(箱注意)	17225	T3GR0	1	
BF615	サージタンク	フランジボルト M6x1.0x15	91189	06015	2	- 2
11221	サージタンク	ステー、リアカバー	11221	T3GR0	1	- 2
BF615	サージタンク	フランジボルト M6x1.0x15	91189	06015	1	- 2
11223	サージタンク	ハーネスブラケット	11223	T3GR0	1	- 2
BF615	サージタンク	フランジボルト M6x1.0x15	91189	06015	1	- 2
16571	ホース類	ラジエーターロアホース(箱注意)	16571	T3GR0	1	
13504	ベルト周り	ドライブプーリー 150	13504	T3GR0	1	別梱包
BF820	ベルト周り	フランジボルト M8x1.25x20	91189	08020	4	- 2
WP816	ベルト周り	平ワッシャー 8	91256	08016	4	- 2
16361	ベルト周り	Vベルト、コンプレッサー1000mm	16361	T3GR0	1	別梱包
*****	その他	燃料コーションラベル			1	- 2
*****	その他	取り付け説明書			2	- 2

取り付け説明書は2冊入っています。1冊は取り付け時にご使用下さい。1冊はお客様にお渡し下さい。

## 【 9 】 構成部品図

構成部品表のイラスト番号と対応しています。イラスト番号の先頭の「  
」は箱番号（1ページ参照）を示しています。





-1 13601組み付け済み

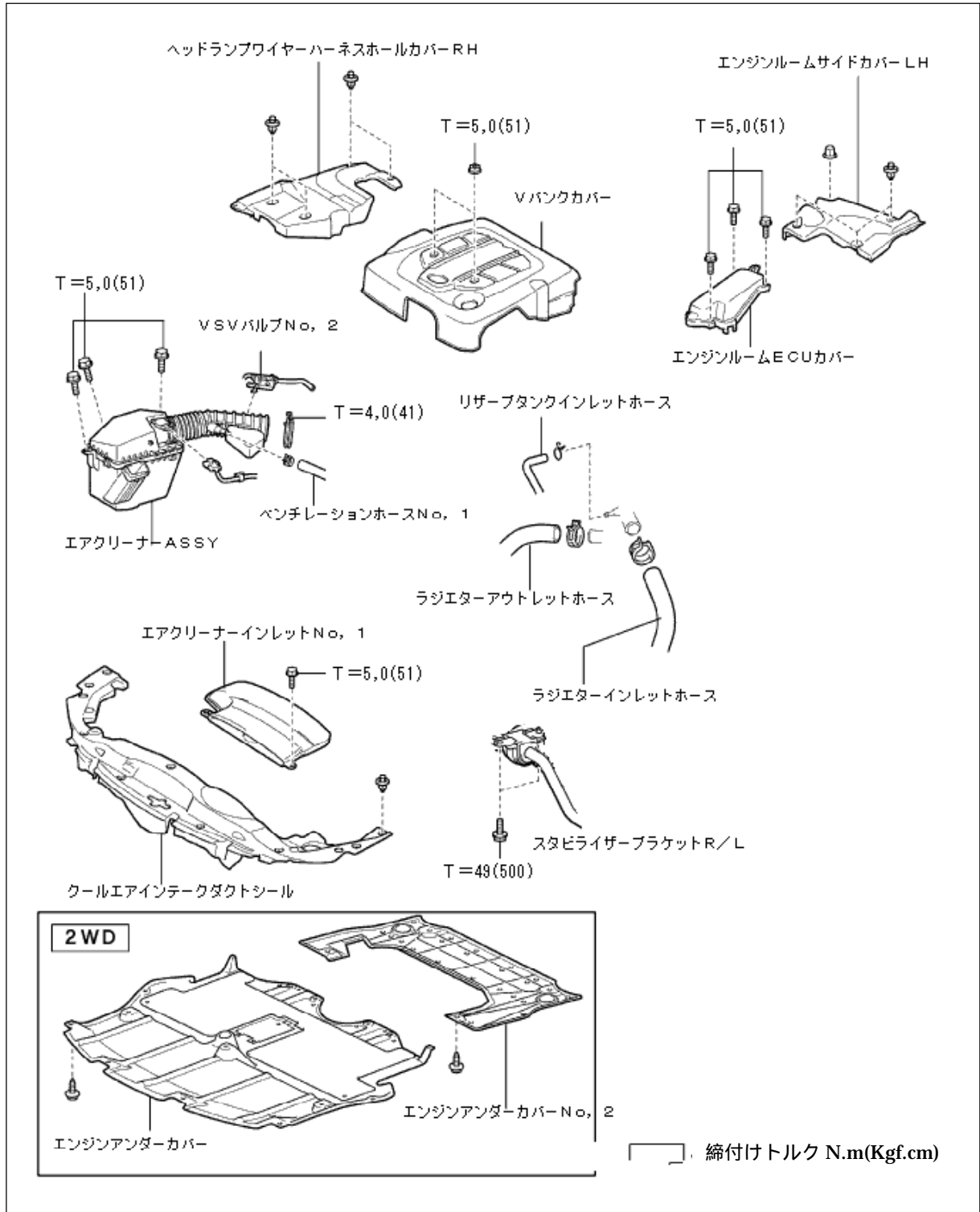
構成部品図 2 (GRS182, GRX121)  
 クラウン、マークX  
 先頭の 〇 は箱番号  
 下段は締め付けトルクを示す  
 \*\* N . m ( K g f . c m )  
 060401



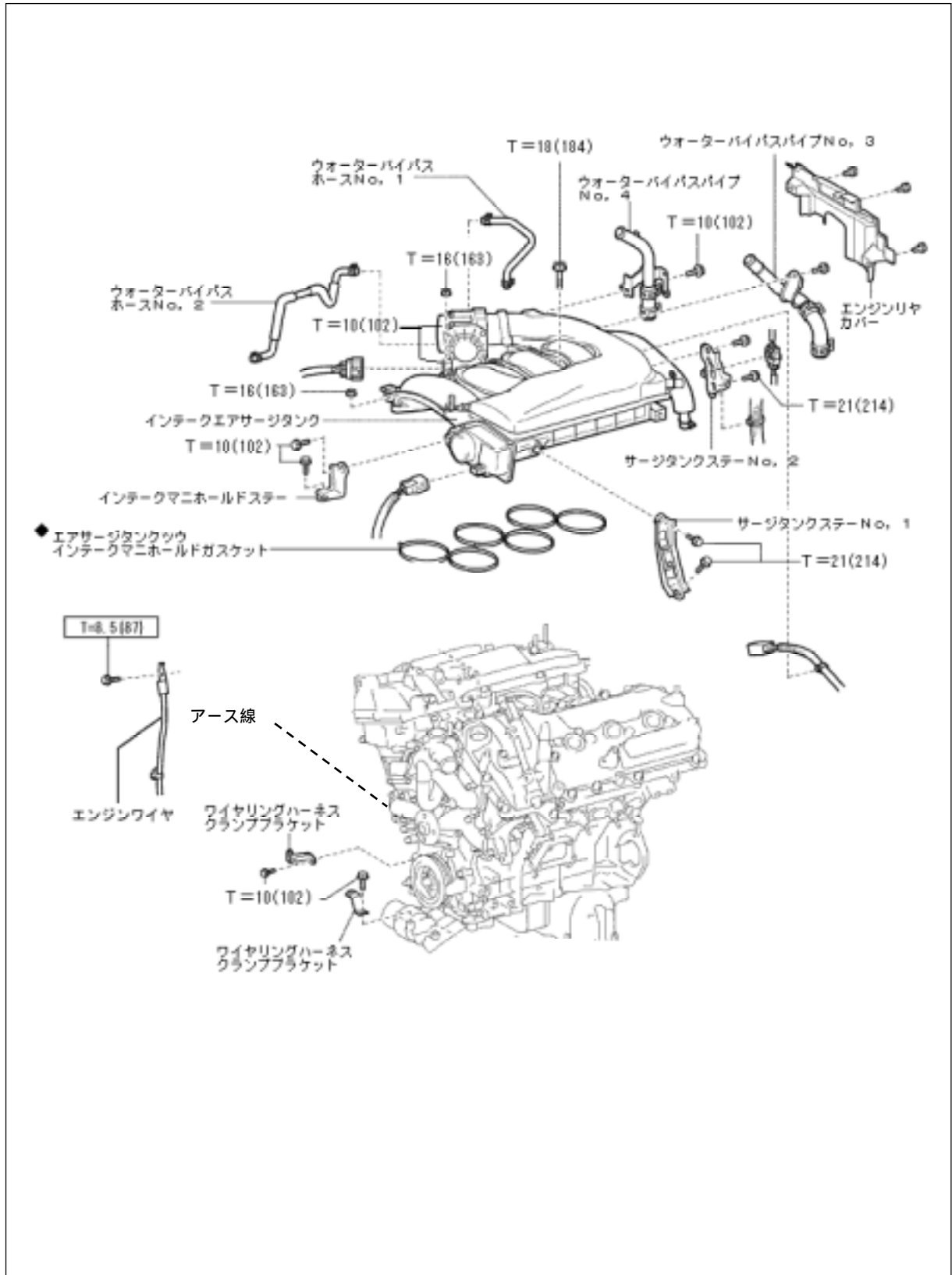
## 【10】 取り付け

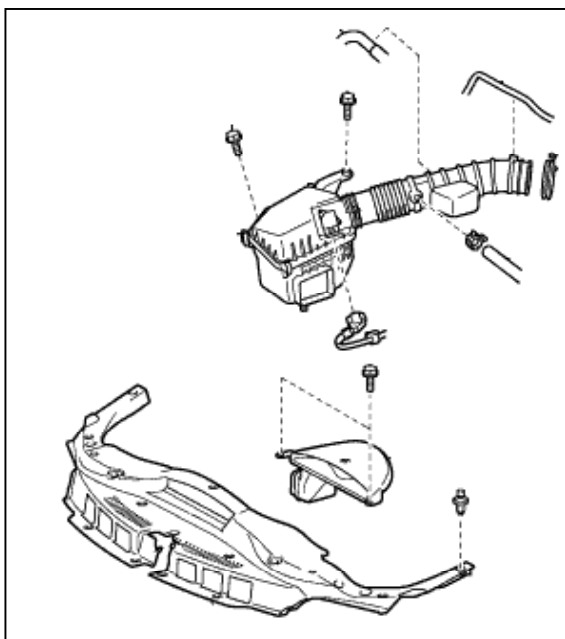
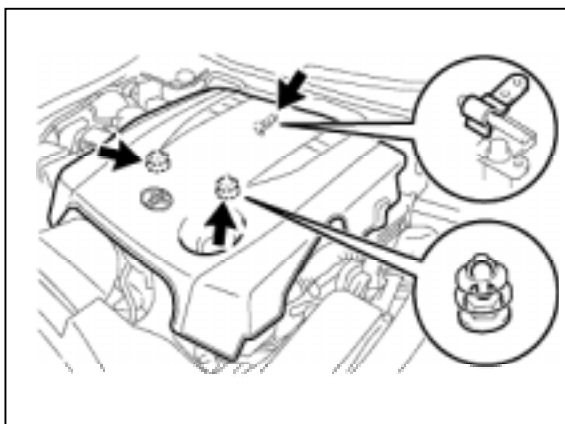
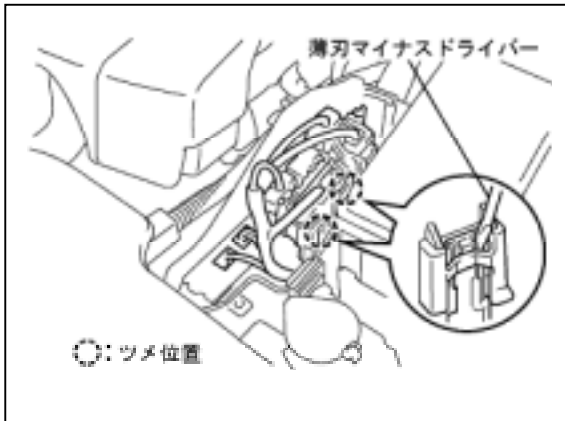
[1] 純正部品はずし

### 【脱着部品図1】



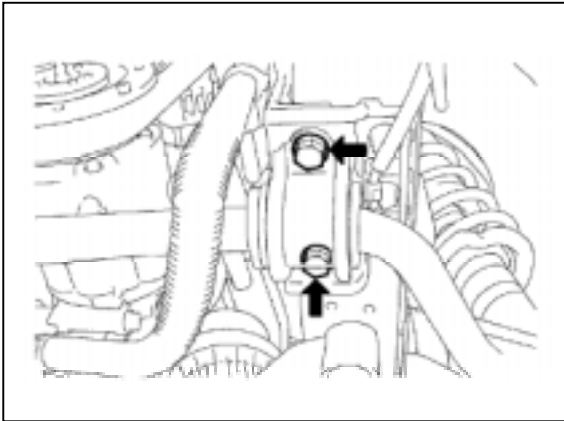
## 【脱着部品図 2】





- 1 エンジンルームサイドカバー R / L はずし
  - 2 バッテリー端子はずし
  - 3 エンジン ECU はずし
    - 1) ボルト 3 本をはずし、エンジン ECU ボックスカバーをはずす
    - 2) 薄刃マイナスドライバーを使用して、ツメのかん合 2 箇所をはずし、コネクタホルダ No.4 を切り離す (左図参照)
    - 3) コネクタ 6 個をエンジンコントロールコンピュータから切り離す
    - 4) ナット 2 個をはずしエンジン ECU をはずす
- はずした ECU をトムス宛て送り、TEC に変更する (返却までに 2 週間ほど必要です) 詳しくは [ 6 ] 「エンジン ECU について」を参照のこと
- 4 Vバンクカバーはずし
    - 1) V-バンクカバーの後端を持ち上げ、車両後方側のクリップをはずす
    - 2) 車両前方側のナット 2 箇所をはずし、V-バンクカバーを取りはずす

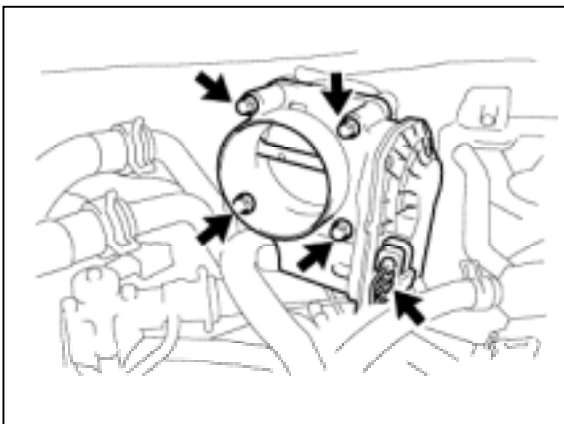
**前後同時に引き上げると破損する恐れがある**
  - 5 エアクリーナーボックス・インテークパイプ・クールエアインテークダクト・エアクリーナーインレット NO. 1 はずし
    - 1) フューエルペーパーフィードホース No.2 をエアクリーナーホースから切り離す。
    - 2) エアフロメータのコネクタおよびベンチレーションホース No.2 を切り離す
    - 3) ユニオユニオンツウチェックバルブホースをエアクリーナーホースのクランプ部から切り離す
    - 4) ボルト 2 本およびクランプをはずし、エアクリーナー ASSY W/ホースを取りはずす
    - 5) キャニスター V S V をエアクリーナーホースからはずす
    - 6) ブラケットから V S V をはずす (スクリュー再使用)
  - 6 冷却水抜き取り
  - 7 ラジエーターインレットホース・アウトレットホースはずし
  - 8 ブレーキブースターホース切り離し (エンジン側をきりはなす)
  - 9 ブローパイプ R / L はずし



1 0 エンジンアンダーカバーおよびアンダーカバーリアR / Lはずし

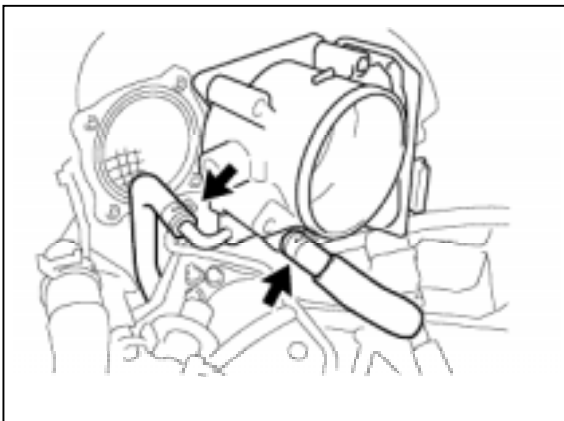
1 1 フロントスタビライザーブラケットはずし

- 1) ボルト4本をはずし、フロントスタビライザーブラケット No.2 R / Lをフロントサスペンションクロスメンバーから取りはずす（スタビライザーを下げる）



1 2 スロットルボディはずし

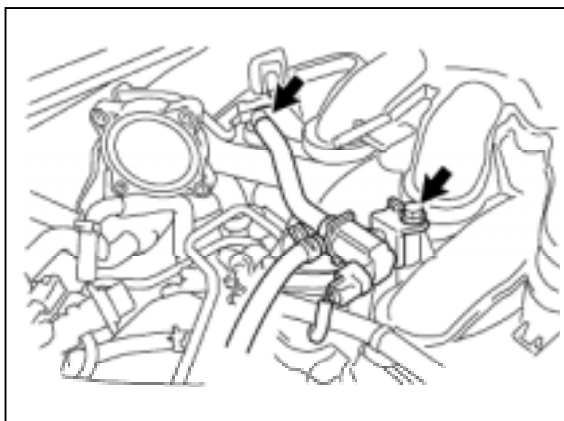
- 1) コネクターをスロットルボディ ASSY から切り離す
- 2) ボルト4本をはずし、スロットルボディ ASSY をインテークエアサージタンクから切り離す



- 3) クランプ 2 個をはずし、ウォーターバイパスホース No.1 およびウォーターバイパスホース No.2 をスロットルボディ ASSY から切り離す。

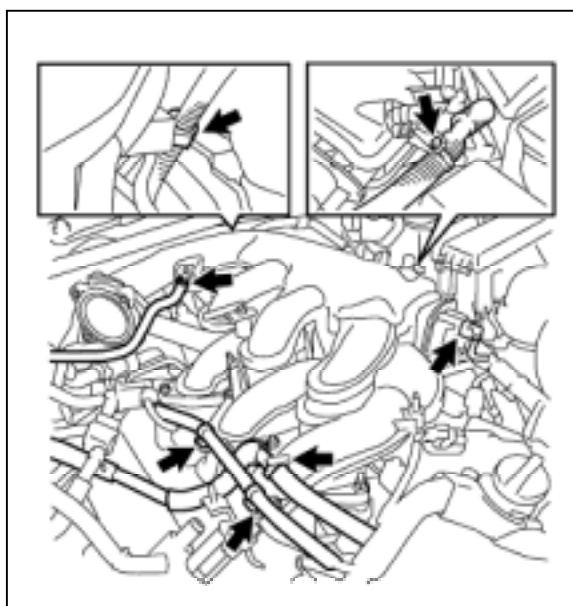
No. 1 ホース（後ろ側）はホース自体をはずす（再使用しない）

- 4) スロットルボディガasketをインテークエアサージタンクから取りはずす

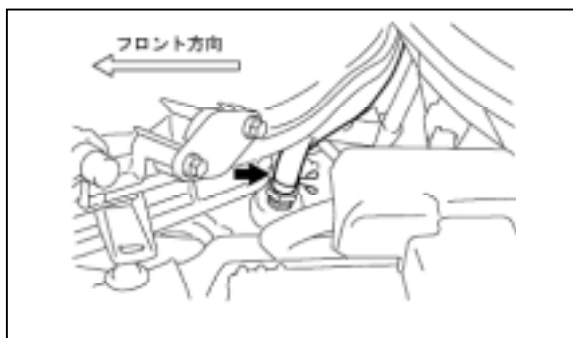


1 3 インテークエアサージタンクはずし

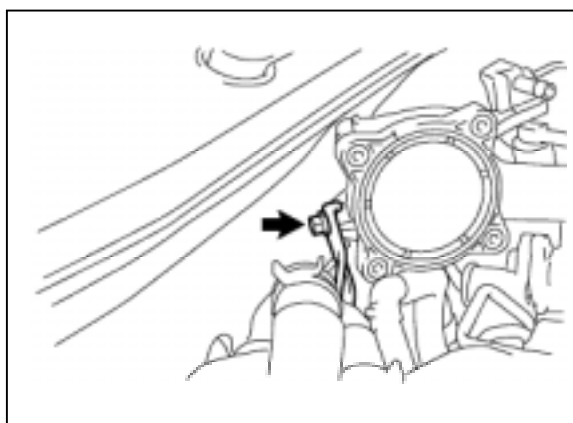
- 1) パキュームホースをインテークエアサージタンクから切り離す
- 2) ボルトをはずし、パキュームスイッチングバルブ ASSY No.1 をインテークエアサージタンクから切り離す



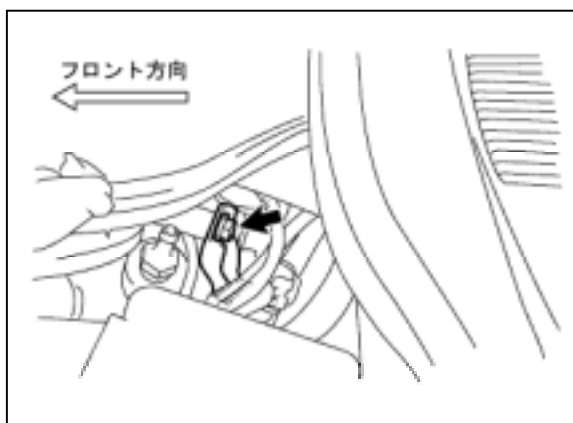
- 3) ワイヤハーネスおよびホースをインテークエアサージタンクから切り離す



- 4) クリップをはずし、ベンチレーションホースをインテークエアサージタンクから切り離す



- 5) ボルトをはずし、ウォーターバイパスパイプ No.3 を切り離す



- 6) ボルトをはずし、サージタンクステーをインテークエアサージタンクから切り離す
- 7) サージタンクステーのヘッド側ボルトをゆるめておく（サージタンク取り付けの際、干渉させないため）



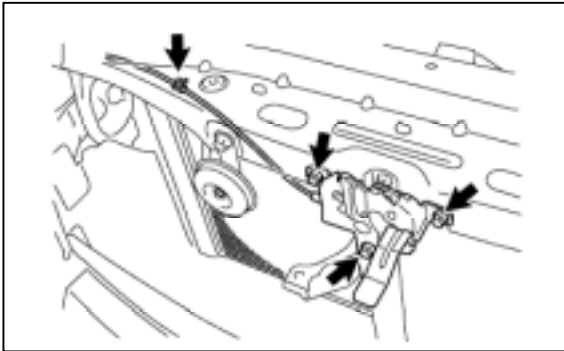
- 8) フロントおよびサイドのブラケットをはずす
- 9) ソケットヘキサゴンレンチ(5mm)を使用してボルトおよびナット2個をはずし、インテークエアサージタンクおよびガスケットを取りはずす
- 10) インテークマニホールドのスタッドボルト2本をはずす

トルクスソケットを使用するか、ナット2個でスタッドボルトを固定してははずす

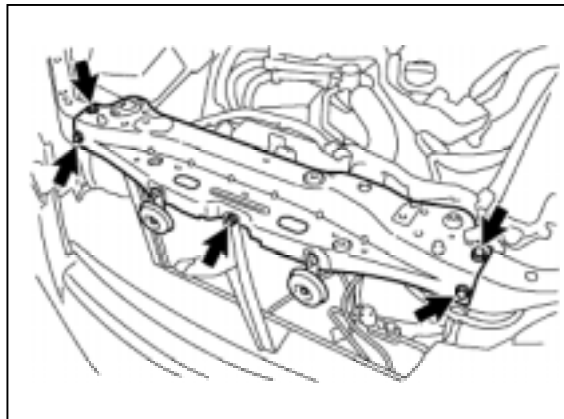
#### 1 4 ラジエーター / クーリングファンははずし

- 1) クリップをラジエーターサポート UPR から切り離す
- 2) ボルト 3 本をはずし、ボンネット(フード)ロック ASSY をラジエーターサポート UPR から切り離す

**ボンネット(フード)ロックコントロールケーブルは途中で急激に曲げない**

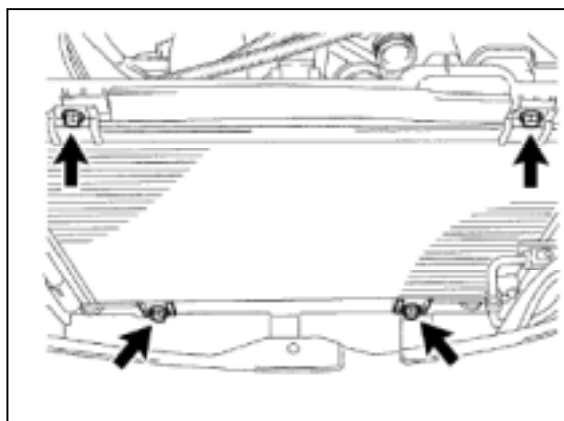


- 3) ワイヤハーネスクランプおよびコネクタを切り離す
- 4) ボルト 5 本をはずし、ラジエーターサポート UPR を取りはずす



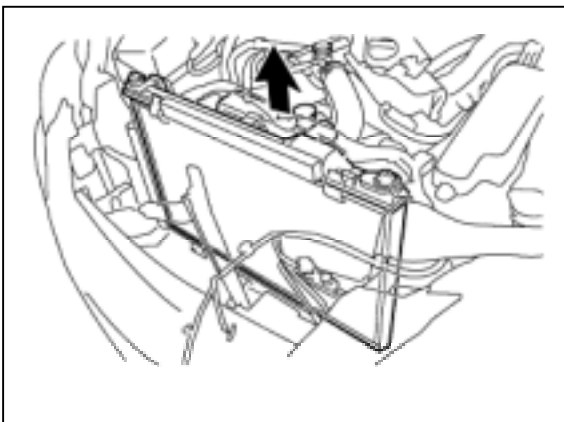
- 5) 上側のボルト 2 本をはずし下側のボルトをゆるめ、クーラーコンデンサー ASSY をラジエーター ASSY から切り離す

下側ボルトはゆるめるだけではずさない

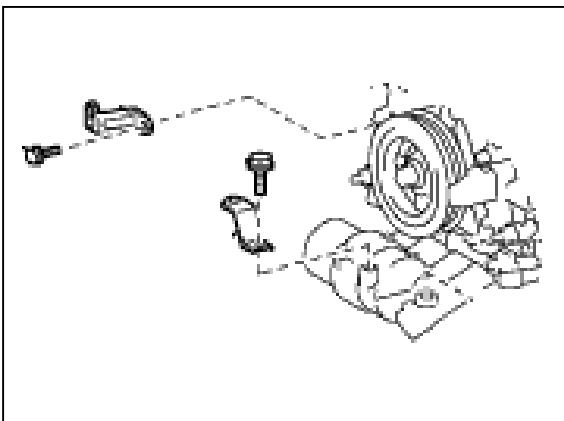




- 6) エンジンルーム ECU アウトレットダクトをエンジンルーム ECU ボックスから取りはずす

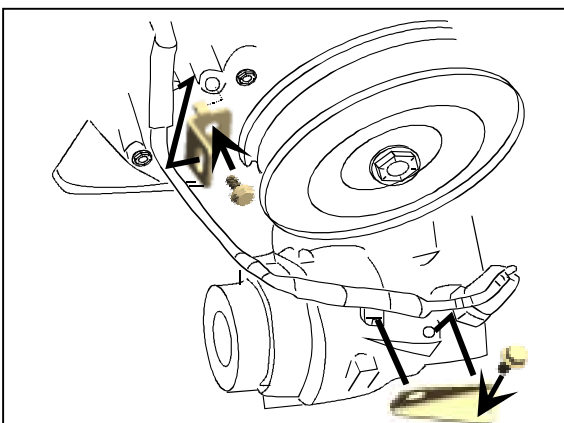


- 7) ラジエーターASSY をクーリングファン ASSY と一体で車両から取りはずす。  
**クーラーコンデンサーASSY とラジエーターASSYを干渉させない**  
**クーラーコンデンサーが傷つかないように保護をする**

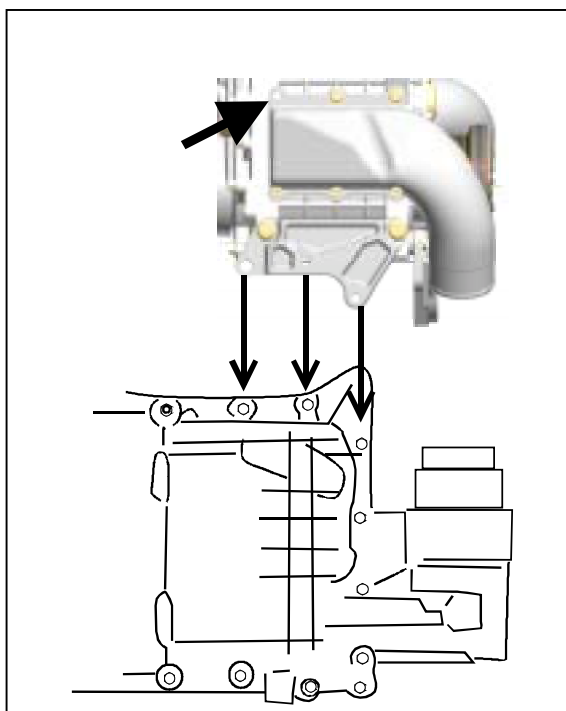
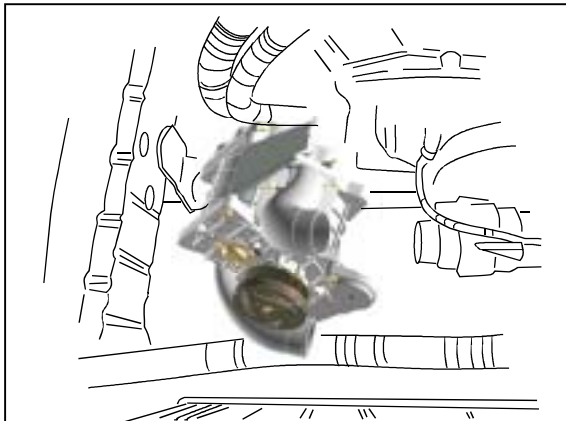
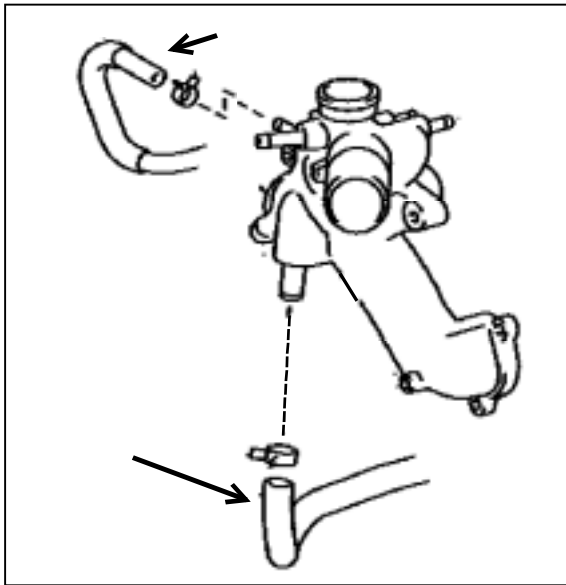


- 1 5 オイルプレッシャーセンサーハーネスはずし  
 1) ボルトをはずし、ワイヤリングハーネスクランプブラケット 2 個を取りはずす( 脱着部品図 2 参照)

- 1 6 アース線はずし  
 1) ボルト 1 本をはずしエンジンブロック R H サイドのアース線をはずす  
 2) サイドフロアメンバーのクリップをはずし、アース線をはずす



- [ 2 ] コンプレッサーASSY取付け  
 1 オイルプレッシャーセンサーハーネスクランプブラケット交換  
 1) 上記 [ 1 ] - 1 6 でははずしたブラケットの場所に 88112 ハーネスクランプブラケット No , 1 および 88113 ハーネスクランプブラケット No , 2 を、純正ボルトを再使用して取り付ける  
 2) ハーネスをブラケットに取り付ける



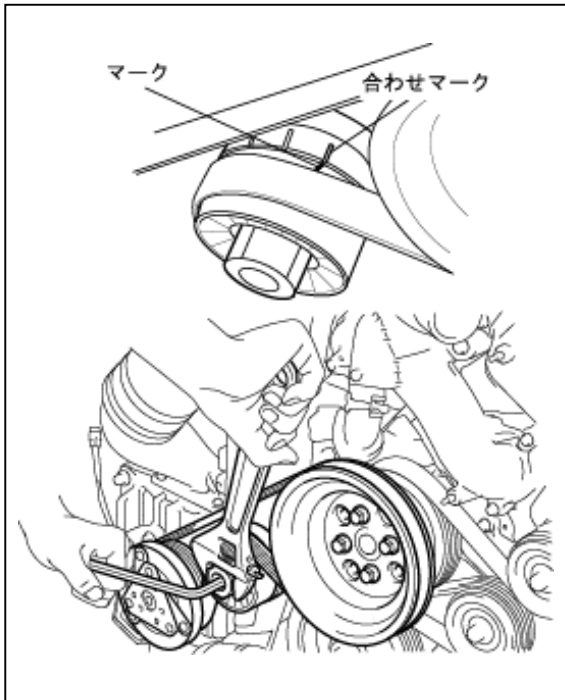
## 2 ウォーターホースカット

- 1) エンジンカバー No. 2 をはずす (再使用しない)
- 2) 左図を参照してウォーターホース 2 本をカットし、取り付け直す
  - 部を 20 mm カットする。保護チューブははずらしてつける
  - 部を 30 mm カットする。保護チューブをはずす
  - バンドは再使用する

## 3 コンプレッサー取り付け

- 1) アッセンブリーになっているコンプレッサーのボルトが確実に締まっているか確認する
  - 各ボルトの締め付けトルクは構成部品図 2 参照**
  - 13615 アップースターのボルト・ナットはゆるめておく
- 2) オイルパン取り付けボルト 2 本と、ナット 1 個をはずす (はずす位置は左下図参照)
- 3) エンジンルーム下側からコンプレッサー A S S Y を持ち上げ、13617 ロアブラケット、コンプレッサーを BC835 ボルト × 2 本と、13619 S ナット、ロアブラケット、WPB25 ワッシャを使用してエンジンに取り付ける (構成部品図 2 参照)
  - 締め付けトルク 構成部品図 2 参照**
  - クーラーコンデンサーを傷つけないように注意する**
- 4) 上記 1 - 2) のアップーサポートを BF820 ボルト 2 本でエンジンブロックに取り付ける
  - 締め付けトルク 構成部品図 2 参照**
- 5) 17151 アウトレットポートの取り付けボルト BC620 キャップボルト 1 本をはずし、アース線を共締めする (左図矢印)
  - 締め付けトルク 構成部品図 2 参照**
- 6) コンプレッサーのクラッチ用ハーネスのコネクターに、82217 マグネットクラッチハーネスのコネクターを取り付ける
  - ハーネスはエンジン上方に出しておく





#### 4 プーリー、ベルト取り付け

- 1) 13507 アイドルプーリー取り付けボルト BC045 を規定トルクで一度締め付け、1 回転ほどゆるめる
- 2) アイドルプーリーの位置を最下端にしておく
- 3) ウォーターポンププーリーのボルト 4 本をはずす  
純正ベルトを張ったままトルクをかけてははず
- 4) 16361 ベルトをスーパーチャージャーとアイドルプーリーにかける
- 5) 13504 ドライブプーリーに 16361 ベルトをかけ、ウォーターポンプの中央の突起にプーリーを引っ張りながらかける

プーリーとベルトの溝があっていないとベルトが取り付けにくいので注意する

- 6) BF820 ボルト 4 本と WP816 ワッシャー 4 個でウォーターポンププーリーと共締める

**締め付けトルク 構成部品図 2 参照**

- 7) 13506 シャフトを反時計方向に回し張りを調整する  
**ベルトを張る際 BC045 ボルトを 1 回転以上ゆるめないこと (ネジ山破損のおそれがある)**

BC045 ボルトをレンチで押さえて、六角部をモンキーレンチ (対角 3 2 mm) などで回しながら張りを調整する

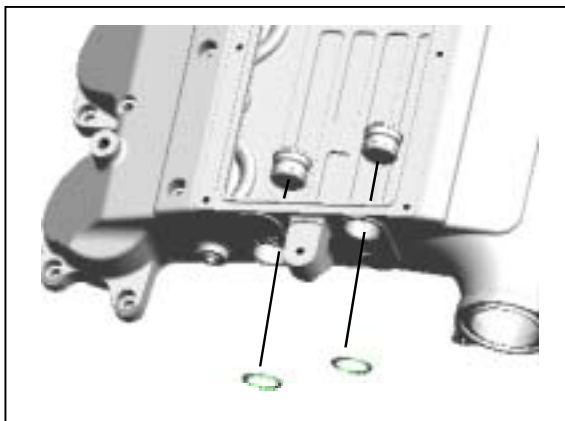
ベルト張り参考値 13501 ブラケットの合わせマークに 13505 シャフトベースのマークを合わせる (左図参照: 3 本のマークのうち、向かって右側にあわせる)

装着後の走行時に高回転域ですべるようであれば張りを強くする。ただし強く張りすぎると純正のベルトがアイドル等で滑る (キュッキュ音が出る) 場合があるので調整する。ただし始動初爆時の「キュッ」音については消えない

**締め付けトルク 構成部品図 2 参照**

**ウォーターホースとベルトが干渉しないこと (すきまが 1 0 mm 以上あること)**

**クラッチハーネスが干渉しないこと**



#### 5 サージタンク取り付け

**以下 5 - 1) ,2) の作業はインタークーラーを同時装着する場合は不要です (インタークーラーなし車両の場合のみ)**

- 1) 17197 ホールプラグ 2 個をサージタンクの内側から取り付け、17223 C リングで外側から固定する  
O リング部にラバーグリスを塗布する
- 2) 17196 O リング、サージタンクカバーをタンクに取り付け、17195 サージタンクカバーを BC512 ボルト 8 本で取り付ける (構成部品図 2 参照)

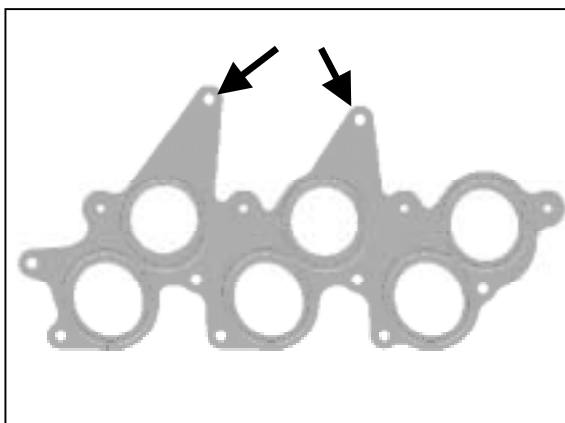
トムスマークを前側にする

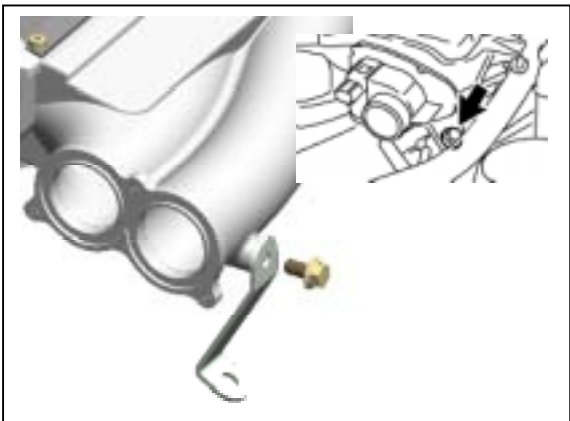
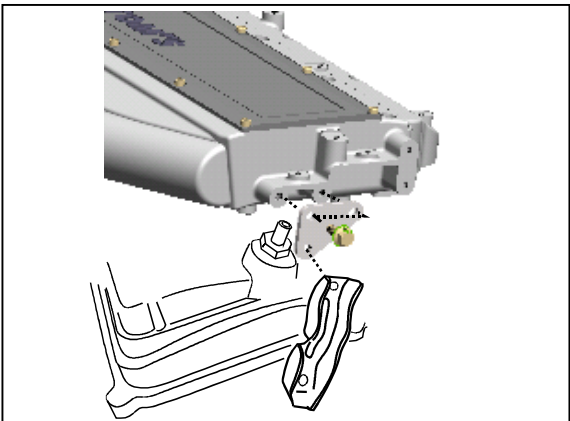
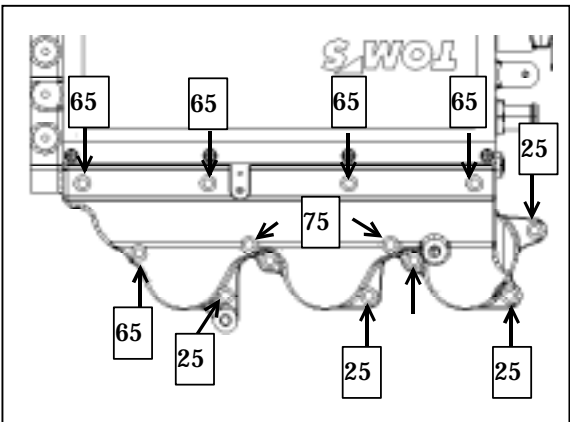
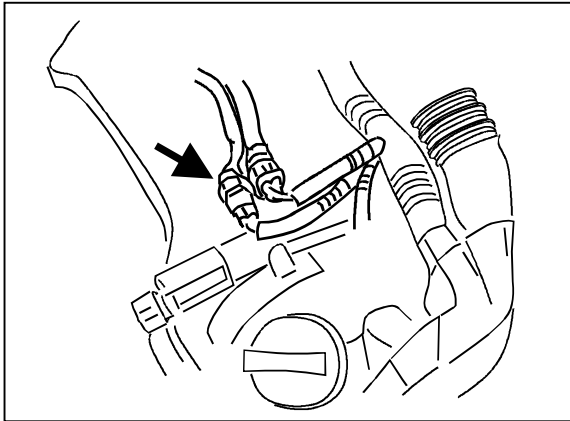
**ボルト均等に締め付ける**

**O リングがはみ出さないように注意する**

**締め付けトルク 構成部品図 1 参照**

- 3) 17193 スペーサー、サージタンクにガスケットを





取り付ける

**ガスケットがはみ出さないように注意する**

- 4) スペーサー、サージタンクを BC618 ボルト× 2 本でマニホールドに取り付ける（前ページ図参照）

**締め付けトルク 構成部品図 1 参照**

- 5) LHバンクのイグニッションコイル 3 番および 4 番用のコネクタークランプをはずし、コネクタ自体をハーネスから切り離す（コネクタは抜かない）

クランプのない車両は作業不要

- 6) 17190 サージタンク A S S Y にガスケット取り付け、スペーサーに取り付ける（左図参照）

使用ボルト：BC675 ボルト× 2

BC665 ボルト× 5

BC625 ボルト× 4

**締め付けトルク 構成部品図 1 参照**

**ボルト・ナットは均等に締め付ける**

**ガスケットは新品を使用する**

**ガスケットのはみ出しに十分注意する**

上記 3) でははずしたコネクタは、サージタンクとヘッドカバーのすきまに入れるようにする

- 7) 17222 ステア、サージタンク No. 3 を BF820 ボルト× 2 本と、前述 [ 1 ] - 1 4 - 6) でははずした純正ボルト 1 本で取り付ける

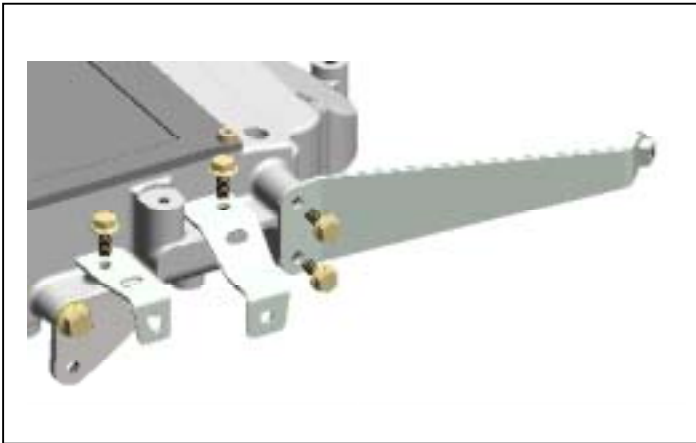
**締め付けトルク 構成部品図 1 / 脱着部品図参照**

- 8) 前述 [ 1 ] - 1 4 - 7) でゆるめたボルトを締め付ける

**締め付けトルク 脱着部品図参照**

- 9) 17198 ステア、サージタンク No. 1 を BF815 ボルト× 1 本と前述 [ 1 ] - 1 4 - 8) でははずしたボルトを使用してヘッドカバー LH に取り付ける

**締め付けトルク 構成部品図 / 脱着部品図参照**



- 10) 17225 ヒーターパイプステーを  
BF615 ボルト×2本で取り付ける  
(構成部品図1参照)

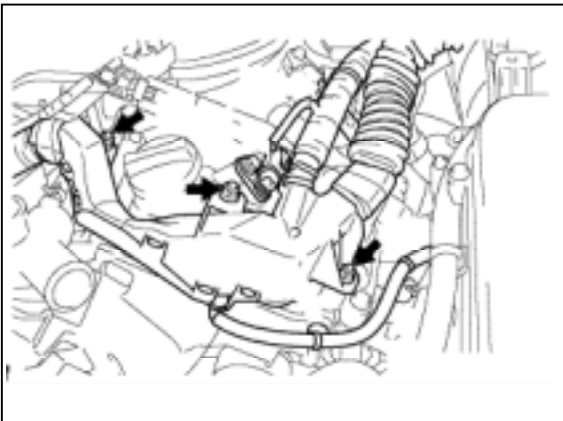
**締付けトルク 構成部品図1  
参照**

- 11) ヒーターパイプをはずしたボルト  
で上記ステーに取り付ける(前述  
[1]-14-5)参照)

**締付けトルク脱着部品図参照**

- 12) 11221 ステーリヤカバーを BF615  
ボルトで取り付ける

**締付けトルク構成部品図1参  
照**



- 13) 11223 ハーネスブラケットを  
BF615 ボルトで取り付ける

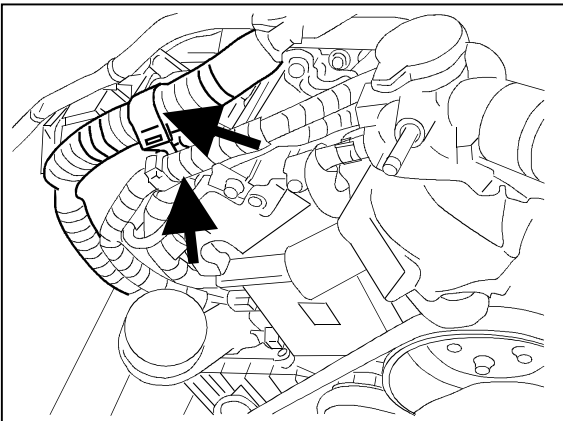
**締付けトルク 構成部品図1参照**

- 14) エンジンワイヤーハーネスのグロメットを上記  
13)のステーに取り付ける

- 15) 前述[1]-14-3)ではずしたもう一方のハー  
ネスを 88114 ハーネスブラケットに取り付ける

- 16) 88114 ブラケットをシリンダーヘッドカバーの上  
のコンデンサーに共締めする

## 6 インレットパイプ取り付け



- 1) エンジンワイヤーハーネスの取り付けナット3個  
をはずす(左上図参照)

- 2) ハーネスのクランプおよびハーネスブラケットを  
はずす(左図参照)

- 3) 17131 インレットポートに17124 ホースバンド2  
個と、17125 ジョイントホースを取り付ける(構  
成部品図1参照)

必要であればラバーグリスを塗布する

バンドはゆるめておく

- 4) エンジンワイヤーハーネスを持ち上げ、17121 イ  
ンレットパイプNo. 2を通す

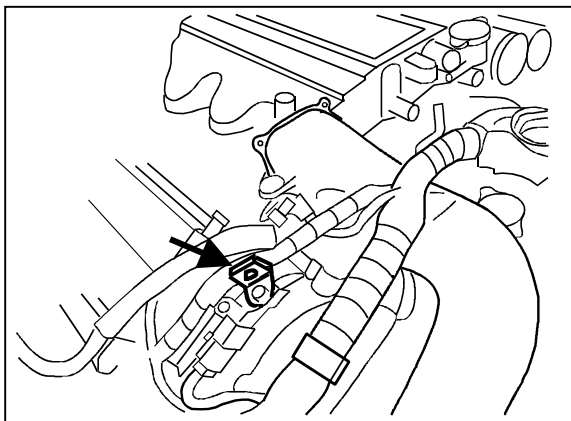
- 5) インレットパイプNo. 2をジョイントホースに  
差し込む

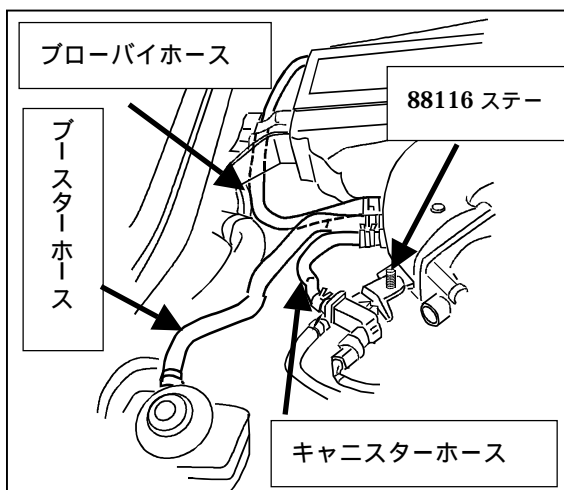
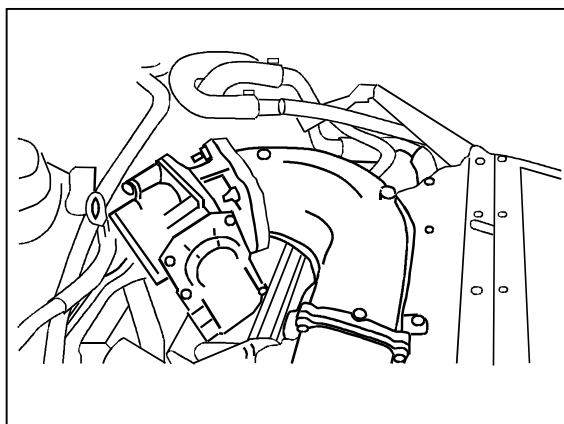
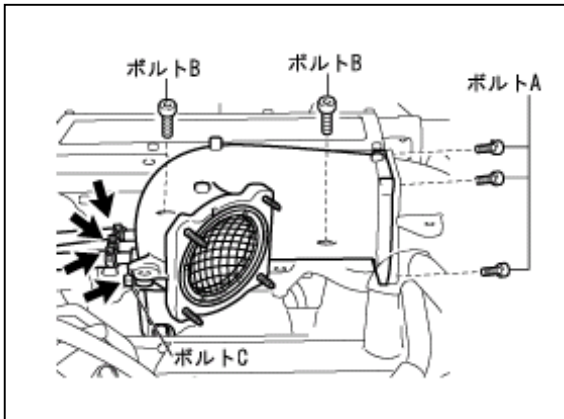
バンドは締め付けない

- 6) 純正ハーネスの取り付けナットを取り付ける

- 7) はずしたハーネスブラケットとクランプを取り付  
ける

- 8) 88115 ハーネスブラケットにエンジンハーネスの  
クランプを取り付け、ブラケットをコンデンサー  
と共締めしてエンジンカバーに取り付ける(左図  
矢印)





- 9) 17156 Oリング、インレットパイプを 17121 インレットパイプNo. 2に取り付け、BC515 ボルト×3本でインレットパイプNo. 1に取り付ける (構成部品図1参照)

**締付けトルク 構成部品図1参照**

- 10) 17110 インレットパイプNo. 1を BC825 ボルトと BC820 ボルトでサージタンクに取り付ける

**締付けトルク 構成部品図1参照**

- 11) 17115 インレットパイプNo. 1ステーを BF815 ボルトとシリンダーヘッドカバー取り付けボルトで取り付け (構成部品図1参照)

**締付けトルク 構成部品図1参照**

**ヘッドカバー ボルト 締付トルク  
21N.m(214Kgf.cm)**

- 12) 17124 バンドを本締めする  
13) スロットルボディを、純正ガスケットを介して取り付け

ボルトは純正を再使用する

ガスケットは新品を使用する

**締付けトルク 脱着部品図参照**

**スロットルポジションセンサーとヘッドカバーとのクリアランスが2mm程度あること**

- 14) ウォーターバイパスホースNo. 1 (後ろ側)を 17128 ホースと交換して取り付け。

バンドは純正を再使用する

- 15) ウォーターバイパスホースNo. 2を取り付ける

- 16) 18128 プロテクター、ホースを適当な長さに切り 18129 ホース、ブローパイに取り付ける

- 17) ブローパイホースを取り付ける

バンドは純正を再使用する

ホースは左図のようにとり回す

**ホースがこすれて破損しないようステーなどの干渉部分に 18128 プロテクターを取付ける**

- 18) ブースターホースを一度はずして向きを逆にして、パイプ3本のうち、中央に取り付ける

バンドは純正を再使用する

**ホースがこすれて破損しないようヒーターホース等と接触する位置にプロテクターを巻く**

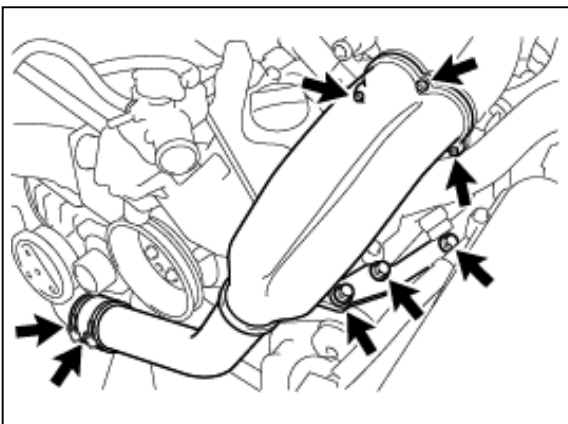
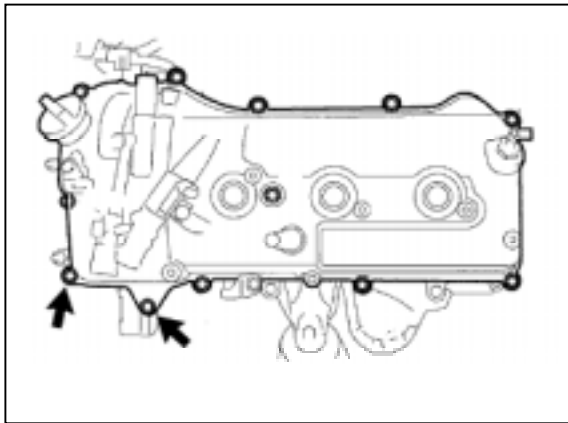
- 19) キャニスター用VSVを 88116 ステーに純正のスクリューで取り付け

- 20) 図の位置に NL801 ロックナットで取り付け (トムスエンジンカバーを装着する車は、共締めする)

- 21) キャニスターのホースをパイプ3本のうち、外側に取り付ける

バンドは純正を再使用する

- 22) 純正のエンジンリヤカバーを取り付ける



インタークーラーキットと同時装着の場合は、この時点でインタークーラーキットを取り付ける（別途キット内取り付け説明書を参照のこと）

## 7 アウトレットパイプ取り付け

- 1) シリンダーヘッドカバーボルト 2本をはずす（左図参照）

- 2) 17151 アウトレットポートに 17155 ジョイントホース、アウトレットと 17154 ホースバンドアウトレットパイプ 2 個を取り付ける（構成部品図参照）  
バンドは締め付けない

- 3) サージタンクに 17164 Oリング、アウトレットパイプ 2 個を取り付ける（構成部品図 1 参照）

- 4) 17160 アウトレットパイプをジョイントホースに差し込み、サージタンク側を BC618 ボルト×3本で取り付ける（構成部品図 2 参照）

**締め付けトルク 構成部品図 1 参照**

**エンジンハーネスをはさみこまないよう注意する**

- 5) バンドを締め付ける
- 6) 17165 ステア、アウトレットパイプを BF815 ボルトとシリンダーヘッドカバーボルトを使用して取り付ける

**締め付けトルク 構成部品図 1 参照**

**ヘッドカバー締め付けトルク 21N.m(214Kgf.cm)**

## 8 純正ラジエター、クーリングファン取り付け

- 1) はずしたラジエター、クーリングファン、ラジエターサポート UPR、フードロック ASSY、エンジンルーム ECU アウトレットダクトを取り付ける

**組み付けは取り外しおよび脱着部品図参照のこと**

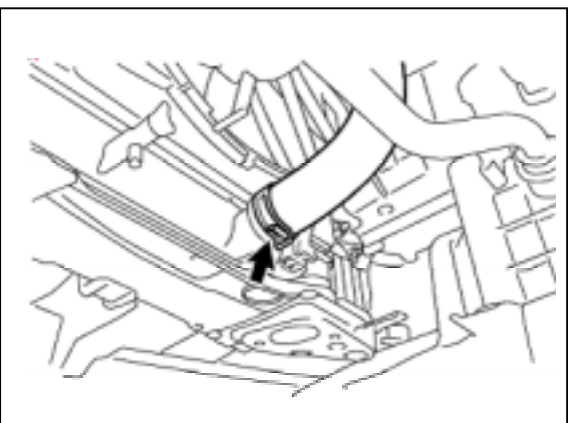
**締め付けトルクは脱着部品図を参照のこと**

**クーラーコンデンサーを傷つけないよう注意する**

## 9 ラジエターロアホース取り付け

- 1) ラジエターロアホースを取り付ける  
バンドは純正を再使用する

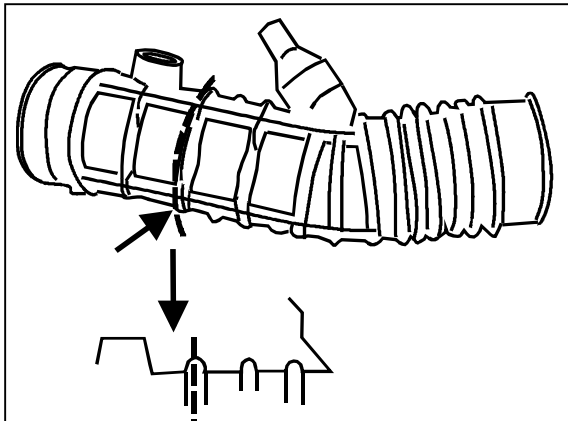
**エンジンと干渉しないよう取り回す**



## 10 ラジエターアッパーホース（インレットホース）取り付け

- 1) 純正のアッパーホース（インレットホース）を、バンドを再使用して取り付ける





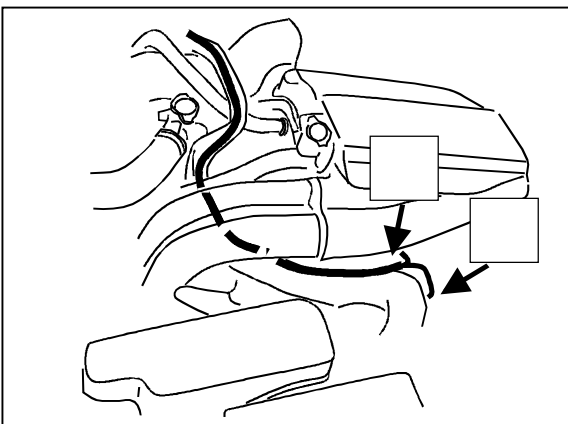
## 1 1 エアクリーナーホースNo. 1加工取り付け

- 1) はずした純正のエアクリーナーホースNo. 1を  
図の位置でカットする

**山の頂上でカットし、山の一部分をバンドの抜け止めにする**

**車両にあてがってカット位置を確認する**

- 2) ホースを純正のバンドを再使用して取り付ける
- 3) エアクリーナーボックスを取り付ける（脱着部品  
図参照）
- 4) エアフローメーターコネクター、ベンチレーション  
ホースNo. 2を取り付ける（脱着部品図参照）



## 1 2 クラッチハーネス取り付け

- 1) 82217 マグネットクラッチハーネスを取り付ける  
（左図参照）

アース線は純正のアース取り付けと共締めする  
（左図矢印）

A C I S用コネクターにクラッチハーネスコネ  
クターの2極端子を取り付ける（左図矢印）

配線の取り回しは引っ張らないようにし、必要に  
応じて固定する

**コネクターはロックを確実に取り付け**

## 1 3 エンジン E C U 取り付け

- 1) エンジン E C U を取り付ける  
**コネクターを確実に差し込むこと**
- 2) エンジンルーム E C U カバーを取り付ける（脱着部品図参照）

## 1 4 冷却水注入

- 1) エンジン冷却水を入れ、エア抜きをする

## 1 5 純正部品取り付け（脱着部品図参照）

- 1) フロントスタビライザーブラケットを取り付ける
- 2) エンジンアンダーカバー、アンダーカバーリヤを取り付ける

## 1 6 燃料コーションラベル貼り付け

- 1) 燃料コーションラベルをフーエルフィルターオープングリッド（給油口リッド裏面）に貼り付ける  
**レギュラーガソリンを入れた場合はエンジンが破損する可能性が高いため、必ず貼り付けること**

## 1 7 各部確認

- 1) エンジンを始動して、アイドルングし、ベルトの干渉などがいないか確認する  
**特にエンジン始動時や、レーシング時にベルトの干渉がないか確認する**
- 2) アイドルングが安定しない場合は、エンジン E C U の学習値が安定するまで、アイドル放置および走行する  
コンプレッサーの過給は走行時の音（約 2 0 0 0 r p m ぐらいからキーン音）で確認する  
軽いレーシングで過給はしない。また冷間時は過給しない（エンジン水温 3 0 ° 以上で過給する）  
**走行後ガソリン、冷却水の漏れ等を点検する**

**TOM'S**

【発売元】株式会社 トムス  
東京都世田谷区等々力6-13-10  
TEL 03-3704-6191

Ver, 1.3 2007/05/15 発行